

第9章 社会連携・社会貢献

(1) 現状の説明

点検評価項目①：大学の教育研究成果を適切に社会に還元するための社会連携・社会貢献に関する方針を明示しているか。

【評価の視点】

1：大学の理念・目的、各学部・研究科の目的等を踏まえた社会連携・社会貢献に関する方針の適切な明示

- 1) 大学として、「社会連携・社会貢献に関する方針」を定め、ホームページに掲載している。学是「仁」と理念「不断前進」に基づき、国際的研究・教育拠点として、地域社会、産業界、国際社会等との幅広い連携活動を展開し、教育・研究・臨床の成果を広く社会に還元することにより、社会連携・社会貢献・国際協力を積極的に推進していくことを基本方針としており、「社会連携」、「産学官連携」、「国際社会への貢献」の項目について、それぞれ方針をまとめている。

(大総務2-1 法人ホームページ 「各種方針」)

《社会連携・社会貢献について》

- 1) 社会連携・社会貢献については、以下の方針を明示している。

- ・ 本学の教育・研究成果及び人的資源等を活用して地域社会との連携活動を推進し、地域社会の持続的発展に貢献するとともに、本学における教育研究活動の活性化を図ります。
- ・ 法人直轄組織として社会連携推進室、各キャンパスに社会連携推進室分室を置き、社会連携の推進を図ります。
- ・ 各キャンパスの所在する周辺自治体と連携協力して、医学、スポーツ健康科学、看護学、国際教養等の分野について、地域住民に対する公開講座・公開講演会・スポーツイベント・健康教室等を充実させ、生涯学習の要望に応じていきます。
- ・ 医学部附属病院群は、高度先進医療を積極的に実践するとともに、地域医療の中核病院としての役割を果たします。具体的には、各病院の特色に合わせて次のような取組みを推進します。①日常診療におけるスムーズな病病連携、病診連携の推進、②地域の医療従事者への医療情報の提供、③医師会や自治体主催の講演会等への講師派遣、④地域住民に最新の医療情報等の学習機会を提供する市民公開講座・研修会の開催
- ・ 高大連携活動を積極的に展開し、高校生に対して大学で学ぶ意義や大学での学修に必要な能力・態度についての理解を深めるよう取組みます。

- 2) 「学校法人順天堂社会連携推進室運営規程」において、社会連携に必要な事項を定めている。

(大社連9-1 学校法人順天堂社会連携推進室運営規程)

- 3) 各学部及び大学院研究科では、社会連携・社会貢献に関する方針を個別に定めており、それぞれのシラバス、学生募集要項やホームページ等に公表・明示している。

(大総務9-1 各学部・研究科の社会連携・社会貢献に関する方針)

《産学官連携について》

- 1) 産学官連携については、以下の方針を明示している。

- ・ 産学官連携活動を促進するため、研究戦略推進センターの体制を強化し、次の方策を実施します。
 - (1) 企業・他大学・研究機関等との連携活動に積極的に取組み、研究成果を社会に還元します。
 - (2) 寄付講座及び共同研究講座の設置や共同研究・受託研究のより一層の外部資金・人材受け入れに努め、教育研究の活性化・多様化を図ります。
 - (3) 研究倫理に関するルールに基づいた適正な研究の遂行と研究費の適正管理に努めます。

- 2) 「順天堂大学産学官連携ポリシー」において、教育と研究という基本使命に加えて、研究成

第9章 社会連携・社会貢献

果の社会還元を第三の使命とし、本法人における産学官連携活動の活性化を図る方針を明示している。研究戦略推進センター内の「産学官研究連携推進室」を中心に産学官連携を推進している。

(大研戦9-1 順天堂大学産学官連携ポリシー)

(大研戦9-2 順天堂大学研究戦略推進センター管理運営内規)

- 3) 臨床研究については、臨床研究・治験センターを設置し、本学における研究成果を他の医療機関に普及させ、社会への還元に寄与するという目的方針の下、医薬品・医薬機器の開発に必要な質の高い臨床研究、治験、その他の臨床研究を推進、支援している。なお、2018(平成30)年1月1日付の組織変更に伴い、同日付で改定された「順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床研究・治験センター管理運営規程」及び「順天堂大学革新的医療技術開発研究センター管理運営規程」において、後継組織の方針を明示している。連携協定締結先の企業・団体数は、延べ20機関となっている。

(大革新8-1 順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床研究・治験センター管理運営規程)

(大革新8-2 順天堂大学革新的医療技術開発研究センター管理運営規程)

(大総務9-2 連携協定締結先一覧)

《他学との連携について》

- 1) 他学との連携については、他の大学及び高等学校との間で教育・研究等に関する連携協定を個別に締結し、そのなかで連携・協力に関する具体的な方針を定めている。なお、連携協定締結先数は、大学間は延べ45校、高大間は3校となっている。

(大総務9-2 連携協定締結先一覧)

《国際社会への貢献について》

- 1) 国際社会への貢献については、以下の方針を明示している。

「順天堂大学国際化ビジョン」に基づき、以下の取組みを行います。

(教育活動の国際化)

1. 国内外の高等教育機関との連携を図り、若手研究者の海外派遣や学生の留学に向けたプログラムの充実と支援体制の強化を図ります。
2. 外国人教員や留学生の受入れを拡大し、協働して学びあう教育環境の充実を図ります。
3. 異なる言語や多様な文化をもった国内外の地域やコミュニティとの教育的な連携を強化します。

(研究活動の国際化)

1. 国内外の大学・研究機関等との研究ネットワークを強化し、基礎臨床融合・異分野連携研究を始めとする共同研究を拡大することによって研究の高度化・深化を図ります。
2. 国際的研究拠点に相応しい研究環境の整備や臨床研究拠点としての大学病院群の機能の充実を図り、産学官の有機的な連携をもってイノベーションの創出に取り組めます。
3. 本学の独創的な研究成果等を国際学術誌等に速やかに公開するとともに社会への還元を進めるため国際シンポジウム等を積極的に開催します。

(学内体制の国際化)

1. 国際交流センターが中心となり、教育・研究の国際戦略を企画立案し、全学的な組織体制を強化します。
2. 本学に在籍した留学生・研究者等の海外ネットワーク組織の強化を図ります。
3. グローバル化に対応する教職員の育成を図ります。
4. グローバル・リーダーシップ育成推進奨学金により若手研究者等の海外留学等を推進し、国際的

第9章 社会連携・社会貢献

に活躍する人材の輩出に努めます。

2) 教員及び学生の国際交流や国際共同研究・教育等具体的な業務については、「順天堂大学国際交流センター運営規程」に基づき「国際交流センター」がその役割を担っている。

(大国交9-1 順天堂大学国際交流センター運営規程)

(大国交9-2 順天堂大学 国際化ビジョン)

点検評価項目②：社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果等を適切に社会に還元しているか。

【評価の視点】

1：学外組織との適切な連携体制

2：社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究の推進

3：地域交流、国際交流事業への参加

《社会連携・社会貢献について》

- 1) 自治体との連携については、東京都文京区をはじめ、千葉県内では佐倉市、成田市、酒々井町、白井市、印西市、習志野市、栄町、浦安市、富里市の9自治体、静岡県三島市、埼玉県川口市、愛知県東郷町及び愛媛県砥部町と連携協定を締結し、教育の振興、スポーツの発展、健康支援など地域社会の発展に寄与することを目的とした取り組みを継続的に実施している。
- 2) 連携協定を締結した自治体とは、社会連携推進室及び各キャンパスの分室が連絡を取り合い、必要に応じて連絡協議会等の場を設け、自治体の要望等に対応した。各キャンパスを拠点に公開講座等への講師派遣、自治体イベントへの参加等による地域住民との交流、地域貢献活動、スポーツ教室等の開催が活発に行われ、地域に根付いた事業となっている。
- 3) 各学部・研究科では、公開講座・シンポジウム等の開催、学校施設の開放、見学会の実施、ボランティア活動等、様々な分野で積極的に展開している。

(大総務9-3 各学部・研究科・附属病院における社会連携・社会貢献の取組み)

《産学官連携について》

- 1) 産学官連携については、2013(平成25)年度から2014(平成26)年度にかけてCOI-T(トライアル)拠点として採択された文部科学省「研究成果展開事業 センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム」の活動が評価され、本学と立命館大学との連携拠点がCOI拠点として2015(平成27)年度に決定した。本プログラム(運動の生活カルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点)では、空間価値を変える新しいスポーツ健康技術(スマートウェア技術、空間シェアリング技術、運動誘導/継続技術)(立命館拠点)と、寝たきりゼロを目指す「ロコモの見える化と予防法の開発」(順天堂拠点)をハイリスクではあるが実用化の期待が大きい異分野融合・連携型の基盤的テーマに対し、集中的な支援を行い、産学が連携する研究開発チームにより社会実装を目指している。2018(平成30)年7月、立命館大学大阪茨木キャンパスにおいて、COIビジョナリーチーム(ビジョン1:松田譲リーダー)によるサイトビジット(拠点訪問)が実施され、本学及び立命館大学からプロジェクトの進捗状況について報告を行った。同年6月、大阪商工会議所にてシンポジウム「人生100年時代を見据えた運動の生活カルチャー化への挑戦」を開催し、当拠点の取り組みをスポーツ・健康に関連する新たなビジネスを創出する企業等に向けて公開した。その他、本学拠点

第9章 社会連携・社会貢献

参画企業である東急不動産(株)の施設(らくティブ)や東郷町施設サービス(株)にてロコモ度チェックや体力測定会などを行った。

(大研戦9-3 大学・大学院ホームページ 本学について 教育改革の取り組みなど センター・オブ・イノベーション(COI))

2)2015(平成27)年7月31日、国立大学法人鹿屋体育大学と相互に連携及び協力し、体育・スポーツ分野における教育研究を進展させるとともに、本分野において我が国の先導的な役割を果たすための連携協定を締結し、共同研究を進めている。

(大ス9-1 学校法人順天堂と国立大学法人鹿屋体育大学連携協定書)

3)個別企業・団体等との間においても、次のとおり連携協定を締結し、それぞれの分野において共同研究等の取り組みを展開している。

(1)独立行政法人理化学研究所：相互の研究能力と人材を活かし、国内外の学術及び技術の振興と有為な人材の育成に資することを目的として、連携基本協定を締結(2012(平成24)年4月26日付)。本協定に基づき、順天堂大学の豊富な医療実績、臨床現場からのニーズと理化学研究所のシーズを活かして、インフルエンザウイルス検出キットの開発や、CAGE(Cap Analysis of Gene Expression)法を用いたがんバイオマーカーと臨床応用に関する共同研究をはじめ、多くの共同研究が実施している。

(大革新9-3 順天堂大学と理化学研究所が包括的基本協定)

(2)花王株式会社：「健康を科学する」という共通テーマのもと、両組織の連携・協力関係を推進するために、研究包括契約を締結(2015(平成27)年6月2日付)。本契約に基づき、互いの研究知見や施設を活用して、医療・健康分野における基盤研究の連携を強め、現場のニーズに即した革新的な技術開発とその早期実用化を推進し、グローバルなイノベーションの創出を目指す為の共同研究が進められている。

(大革新9-4 順天堂大学と花王が産学連携の研究包括契約を締結)

(3)学校法人慶應義塾：首都圏医学系17私立大学が参画している首都圏ARコンソーシアム(MARC, Metropolitan Academic Research Consortium)の組成及び活動を通じて革新的な医薬品等の創出を目指し、研究・教育及び医療活動の一層の充実を図ると共に、その成果を社会に発信し、先端的医療の確立と健康医療分野の発展に寄与するために、基本協定を締結した(2017(平成29)年6月1日付)。本協定に基づき、MARC体制整備、シーズ発掘、教育・人材交流、臨床研究のワーキンググループの活動を通じて参加メンバー間の密な情報交換を行っている。MARCのホームページを通じて、臨床研究・治験センター主催で行っており、研修会・講演について広く社会に発信している。2019(平成31)年度より、教育・人材交流のワーキンググループにて、MARC臨床研究合同研修会(第1回は本学主導)を開催し、臨床研究の研究者・支援者等の人材育成を更に推進していく予定である。

(大革新9-5 首都圏ARコンソーシアムに関する基本協定書)

(4)東急不動産株式会社：2015(平成27)年10月29日付で包括的連携協定を締結した。本協定により、本学と東急不動産は互いが有する資源を有効に活用し、相互の発展を通じて我が国が全世界に先駆けて直面する超高齢社会の課題を解決する新たなプログラムを構築し、健康長寿社会の実現を目指す。既に本学では、COIプログラムでの連携に加え、寄付講座「ジェロントロジー：医学・健康学応用講座」を設置し、学問的なアプローチから、楽しく、寛げる、動ける、語らう、食べることの可能な住空間システムのハード面・ソフ

第9章 社会連携・社会貢献

ト面の開発を進めている。

(大総務9-4 学校法人順天堂と東急不動産株式会社が包括連携協定を締結)

- 4) 2014(平成26)年6月23日、一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と、連携協定を締結しており、大会に向け様々な取り組みを進めている。具体的な事例として、公開講座、事前キャンプの受け入れを想定した大学施設の開放、オリンピック・パラリンピックに関わる体験会やスポーツ教室の実施等がある。オリンピック選手への育成・強化、監督・コーチ及びサポートスタッフの輩出、キャンプ地誘致活動への協力・支援などを行っている。また、2018(平成30)年6月22日、同組織委員会から、5つの競技会場における会場医療責任者又は同副責任者の派遣及び観客用医務スタッフの派遣について要請を受けた。これに対し、医学部附属病院の協力を得て必要人数の派遣を応諾することとした。
- 5) 2018(平成30)年7月にスポーツ健康科学部は、スポーツ庁の公募事業である「大学スポーツ振興の推進事業」に、2年連続で採択(採択大学15校)された。同事業では「大学スポーツを通じた地域貢献、地域活性化」、「スポーツ教育の推進」、「スポーツ科学の研究とその成果の社会還元」を三つの柱として取り組み、前年度に引き続き障害者スポーツ(パラスポーツ)をテーマとして、産・学・官・スポーツ団体の協働によるモデル事業を実施し、その成果を情報発信していくことで持続可能な大学スポーツ振興に資する共有価値創造の基盤を形成することを目的として活動している。
- 6) 奨学目的の寄付を有効に活用した寄付講座及び共同研究の基盤となる共同研究講座を設置して、教育研究の豊富化や活性化を図り、人材を養成するとともに共同研究講座の開設を推進し、産学連携の強化を図り、研究成果の社会実装化を目指す。2018(平成30)年度には、18の寄付講座と13の共同研究講座が設置されている。

(大総務3-2 平成30年度 事業報告書 「(6) 寄付講座」・「(7) 共同研究講座」)

- 7) 臨床研究については、臨床研究・治験センターを中心に臨床研究に係る教育を行うとともに、研究支援を行っている。教育面では、平成24年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事業・次世代先導的がん研究者養成コースを通じて医師・コメディカル・がん研究者に対する疫学研究の基礎、臨床研究の倫理面での配慮に関する教育を行っている(同事業は補助終了後も大学院のコースワークや授業科目として継続中)。また、臨床研究に携わる研究者、研究支援者を対象とした生物統計教育、臨床試験デザイン、モニタリング等に関する研究教育セミナーを定期的に企画開催し、臨床研究人材の育成、能力向上に努めている。2019年(平成31年)3月2日には、「平成30年度 臨床研究講習会(倫理委員会認定講習会)」を開催し、全プログラム終了後に行われる認定試験に合格した者には、病院倫理委員会の申請資格として認められる修了証を発行している。研究支援としては、多施設共同臨床研究の支援も行っている。同センターで支援している臨床研究の成果等は、学会・論文で発表されている。

(大革新9-6 臨床研究中核病院申請書類 様式5 特定臨床研究に関する研修の実績)

《他学との連携について》

- 1) 他の大学及び高等学校との間においても、次のとおり連携協定を締結し、それぞれの協定に基づき、教育・研究等の推進に取り組んでいる。
- (1) 早稲田大学：医学と建築学の融合を図り、次世代環境医療、エコキャンパス・ホスピタル及び病院建築に関する研究を推進するため、2009(平成21)年3月に研究協力協定を締結

第9章 社会連携・社会貢献

した。4つのテーマのうち3テーマは研究成果を新病棟において実現させ終了した。現在は感染環境制御をテーマに、定例的に共同研究会を開催し共同研究を推進している。

(大再編9-1 学校法人順天堂と学校法人早稲田大学との共同研究に関する覚書)

(大再編9-2 次世代環境医療研究会組織図)

(大再編9-3 2014(平成26年)2月21日(金)東京新聞「東京消防庁新基準適用第1号 順天堂の新病棟で訓練」)

- (2) 学校法人女子美術大学：2015(平成27)年5月20日付で連携・協力に関する基本協定を締結した。同校の創立者の一人で、校主であった佐藤志津は順天堂 第二代堂主佐藤尚中の実の娘であり、第三代堂主 佐藤進の妻であった。佐藤志津が亡くなった後は佐藤進が校主・校長に就任し、その後、第四代堂主 佐藤達次郎が同校の理事長、学長を務めるなど、同校とは歴史的に強い結びつきがある。芸術・癒し・デザインの分野に秀でた同校と、医療・健康・スポーツの分野に強みを持つ本学が協定を結んだことで、ヒーリングアート・癒し・スポーツメンタルなどを切り口とした様々な分野、領域での連携協力や新たな取り組みが期待される。2019(平成31)年3月27日には、本協定に基づいて創設された「佐藤志津・小川秀興賞」の第3回授与式が挙行された。この賞は、女子美術大学卒業制作作品の中から優れた作品を表彰するもので、受賞作品はヒーリングアートとして1年間、順天堂医院B棟のエントランスに展示されている。

(大総務9-5 学校法人順天堂と学校法人女子美術大学が連携・協力に関する基本協定を締結)

- (3) 電気通信大学・星薬科大学：2016(平成28年)12月1日付で、3大学の「URA」University Research Administrator」人材の交流を契機とした、学術連携交流に関する3大学連携協定を締結した。各大学の異なるブランド領域(順天堂大学における医学、電気通信大学における工学、星薬科大学における薬学)を、URA人材を活用して異分野連携を促進するための組織的連携関係を構築する。星薬科大学・電気通信大学 第1回薬工連携シンポジウム2019(平成31)年3月4日開催)にて本学からも発表を行った。また、JST(国立研究開発法人科学技術振興機構)「未来社会創造事業」機械・人間知とサイバー・物理世界の漸進融合プラットフォーム(平成30年度採択：電気通信大学代表)に、星薬科大学と連携して参画している。

(大総務9-6 国立大学法人電気通信大学と順天堂大学との学術連携交流協定書)

(大総務9-7 電気通信大学・順天堂大学・星薬科大学による学術連携交流協定締結)

- (4) 立命館大学：2015(平成27)年10月6日付で、研究・教育内容の充実と学術・文化の発展及び科学技術の高度化を図ることを目的とした学術交流に関する包括協定を締結した。これにより、従来より両大学が進めている文部科学省と科学技術振興機構が推進する「革新的イノベーション創出プログラム」(Center of Innovation=COI)において、「スポーツ・健康」と「セルフケア・医療」の融合による健康維持・増進を図り全ての人々をアクティブな状態へ誘導する「アクティブ・フォー・オール」による実践の場として、愛知県東郷町を社会実装の拠点とし、健康管理サポートシステム「eケア」を用い、住民の健診後の健康セルフケアを、携帯端末アプリを活用し、女性医師やジムトレーナーがアドバイスを返信する取り組みを自治体と連携し、社会実装化のスタートを図った。次年度以降については中小企業の健康管理組合へ実装の場を拡充を図る。

第9章 社会連携・社会貢献

(大総務9-8 順天堂大学と立命館大学が学術交流協定を締結)

- (5) 明治大学：2015(平成27)年12月18日付で、教育・研究活動の交流と連携の推進を目的とした大学間交流に関する包括協定を締結した。本学と明治大学は、2002(平成14)年7月から首都大学院コンソーシアムでの単位互換協定や教員の連携による共同研究などの取り組みを行っている。本協定の締結により、これらの連携をさらに推進・発展させ、教職員及び学生の交流や施設の相互利用などを通じて両大学の教育研究力のさらなる向上をはかるとともに、医学部を有する本学と法・理工・農学部を有する明治大学が互いの特長を活かして社会に貢献していくことを目指す。図書館の相互利用や明治大学公開講座「江戸・明治期の医学・医療の歴史」への講師派遣を行っている。

(大総務9-9 順天堂大学と明治大学が包括協定を締結)

- (6) 東京藝術大学：2016(平成28)年3月23日付で、教育研究・人材交流・社会貢献・国際交流等の一層の充実と質の向上を図り、学術研究の発展と有為な人材の育成に寄与することを目的とした連携・協力に関する包括協定を締結した。音楽セラピー等の共同研究の推進や、解剖・病理分野と美術解剖学における連携、順天堂医院におけるホスピタルアート・ヒーリングアートの展開など、両大学の保有する世界最高水準の教育・研究資源の有効活用を図るとともに、「医学・医療と芸術の融合」による相乗効果を最大化することで、医学・芸術両分野の更なる発展を目指している。2019(平成30)年1月25日には、イベント「Limitless」を開催し、芸術、工学、スポーツの融合をテーマにした、東京藝術大学、立命館大学及び本学の若手研究者でのコラボレーションによる課題「バイタルデータのアート化システム」の研究成果を発表した。本学のボッチャ部から3名が出演した。

(大総務9-10 順天堂大学と東京藝術大学が連携・協力協定を締結)

(大総務9-11 「Limitless/リミットレス」を開催！)

- (7) お茶の水女子大学：2017(平成29)年10月16日付で、双方の学術交流の促進を図る目的で協定を締結している。お茶の水女子大学及び順天堂大学との学術交流協定書に基づく第2回情報交換会を2019(平成31)年2月19日に開催した。

(大総務9-12 国立大学お茶の水女子大学と順天堂大学が学術交流協定を締結)

- (8) 大学院の連携について本学大学院医学研究科は、従来より、複数の大学院と両大学院間の交流と協力を推進し教育研究の充実を図るため、大学院学生が相互に必要な研究指導を受けることを目的とした特別研究学生交流協定を締結している。2015(平成27)年11月11日に東京大学、2016(平成28)年3月25日に横浜市立大学大学院医学研究科と、それぞれ特別研究学生交流協定を締結した。

- (9) 高大連携については、2015(平成27)年3月に昭和第一高等学校と、同年8月に神田女学園高等学校と、それぞれ教育提携協定を締結した。また、2017(平成29)年5月に学校法人聖啓学園と連携協力協定を締結した。相互の交流を通じ、生徒の視野を広げ学習水準を高めるとともに、教育内容等への理解を深めるなど、大学教育と高等学校との連携を図り、互いの教育の更なる活性化を目指していく。

(大IR9-1 昭和第一高等学校との教育連携協定締結)

(大IR9-2 神田女学園高等学校との教育連携協定締結)

(大IR9-3 学校法人聖啓学園との教育連携協定締結)

第9章 社会連携・社会貢献

《国際交流について》

1) 国際交流については、大学を挙げて積極的に推進し、2019(平成31)年3月末現在の大学間における国際交流協定校は、25カ国/地域・62校となっている。

(大国交9-3 大学協力協定締結状況)

2) 海外の大学等との連携活動実績は、次のとおりである。

(1) 北京大学—順天堂大学国際学術シンポジウムを、国際交流協定に基づいて実施している。両大学から精鋭の研究者が国際的トップレベルの学術的交流を果たし、両大学での共同研究を更に進展させるため、2010(平成22)年、2011(平成23)年及び2016(平成28)年に順天堂大学で、2012(平成24)年、2015(平成27)年及び2018(平成30)に北京大学でシンポジウムを開催している。次回は2020(令和2)年に順天堂大学での開催を予定している。

(大国交9-4 第6回順天堂大学・北京大学国際学術シンポジウムプログラム)

(2) 仁済大学—順天堂大学共同シンポジウムを、国際交流協定に基づいて実施している。両大学から精鋭の研究者が国際的トップレベルの学術的交流を果たし、両大学での共同研究を更に進展させるため、2017(平成29)年に順天堂大学で、2016(平成28)年及び2018(平成30)に仁済大学でシンポジウムを開催している。

(大国交9-5 第3回順天堂大学・仁済大学共同シンポジウムプログラム)

(3) 東京医科歯科大学との共同プログラムとして、両校の留学生の日本文化交流や日本語教育について2013(平成25)年から相互に協力体制を整備し実施している。

(大国交9-6 順天堂大学・東京医科歯科大学日本文化交流プログラム)

(4) 協定校をはじめ、ベトナム・国防大臣一行、カンボジア・眼科学会一行、ウズベキスタン大使、中国・国家衛生健康委員会一行、タイ・スポーツ局一行などの来訪・表敬訪問が2018(平成30)年度で24件あった。

(大国交9-7 平成30年度表敬訪問・行事一覧)

(5) 協定校・スタンフォード大学医学部から小児科教授を招聘し、2018(平成30)年4月9日に国際学術セミナーを開催した。

(大国交9-8 スタンフォード大学国際学術セミナーポスター)

3) 2014(平成26)年度に、医学部での外国人学生及び短期研修者の獲得を視野に入れ、従来の英語版ホームページ(トップページ)のリニューアルを行った。順次既存の内容についてもデザインを含めて更新を進めたところ、本ページ公開直後より、医学部短期研修を希望する海外の学生・医師からの本学に関する照会が数多く寄せられ、2018(平成30)年度の医学部短期研修生受入数は377名と引き続き前年度から大幅に増加した。また、参加者の出身国も広がりを見せている。今後受入数は受入講座の負担も考慮し、ある程度落ち着くものと見られるが、参加者が帰国した後の波及効果により、申請者の背景はより多様化するものと見込まれる。

(大国交9-9 医学部短期研修生受入数の推移)

《その他の社会貢献活動について》

1) 本郷・お茶の水キャンパスのセンチュリータワー17階にある「日本医学教育歴史館」は、順天堂創立175周年記念事業の一環として開設され、日本の医学教育の歴史を資料等により検証できる本邦初の常設展示施設である。一般公開(火・木曜日)しており、見学者は年間約800名となっている。

第9章 社会連携・社会貢献

(大総務9-13 施設・関連団体ホームページ 「日本医学教育歴史館」)

点検評価項目③：社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

【評価の視点】

- | |
|---|
| 1：適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価
2：点検・評価結果に基づく改善・向上 |
|---|

《社会連携・社会貢献について》

- 1) 社会連携に関する具体的な事業計画の策定及び各キャンパスにおける取り組み状況等の点検・評価等については、事業の有効性や適切性について学長を委員長とする社会連携推進委員会で審議し、検証している。具体的には、各キャンパスから、各々の地域で実施した公開講座、シンポジウム、スポーツ教室、学生のボランティア活動等についての報告及びこれらの実績を踏まえた次年度計画の説明を受け、大学全体として課題と改善策について情報共有を図った。また、2018(平成30)年6月4日開催の社会連携推進委員会において、学校法人順天堂として社会連携・社会貢献を進めていくためには、社会連携推進室の対象業務の範囲を現行の法人及び各キャンパスの活動に加え、各附属病院における社会連携推進活動も追加すべきとの意見があった。これを踏まえ、キャンパス及び附属病院を含めた社会連携推進室の業務を円滑に行うため、各キャンパスに加え各附属病院にも社会連携推進室の分室を設置するように学校法人順天堂社会連携推進室運営規程を改正した。(2019(平成31)4月施行)
 (大社連9-2 社会連携推進委員会議事録(平成30年6月))
 (大社連9-3 社会連携推進委員会議事録(平成31年1月))
 (大社連9-4 順天堂ニュース No.2197 (2019年3月1日号))
- 2) 本郷・お茶ノ水キャンパス(医学部)では、東京都、新潟県、千葉県、埼玉県の各地域枠学生を対象に、2018(平成30)年7月3日、11月20日、「地域枠学生」向けの説明会及び「地域枠学生」として大学を卒業した臨床研修医からの報告会を開催した。報告会を開催することで方針に沿った貢献ができているか検証している。「地域枠学生」としてのキャリアパスについての説明や情報交換を行い、将来、各地域での地域医療に貢献するための現状把握やキャリアプランについて考察するよう地域枠担当教員が地域枠学生へ指導している。
 (大医9-1 平成30年度 地域枠学生ユニット説明会(平成30年7月))
 (大医9-2 平成30年度 地域枠学生の卒前・卒後報告会(平成30年11月))
- 3) さくらキャンパス(スポーツ健康科学部・大学院スポーツ健康科学研究科)では、社会連携推進室さくら分室が関わる公開講座等において、参加者にアンケートを行い、次年度への課題や改善として活用している。また、毎年作成される社会連携事業実績報告及び次年度活動計画を作成する際に、改善・向上に向けた取り組みを検討している。
- 4) 浦安キャンパス(医療看護学部・大学院医療看護学研究科)では、社会連携推進室(浦安キャンパス分室)と自治会、地域連携委員会学生による連絡会議を定期的に開催しており、活動状況について検証を行いながら、地域社会との連携及び貢献の推進を図っている。また、高大接続プログラム部会において、プログラムの実施方針等について評価・検討を行い、改善点等の検証を行っている。
 (大医看9-1 社会連携推進室連絡会議議事録(平成31年2月))

第9章 社会連携・社会貢献

(大医看9-2 高大接続プログラム部会議事録(平成30年9月))

- 5) 三島キャンパス(保健看護学部)では、地域社会へ貢献するため公開講座や各自治体の委員活動、学生ボランティアに取り組んでいる。公開講座の適切性の評価については、参加者アンケート等を参考に公開講座企画委員会において実施している。また、公開講座を含む社会連携全般については、社会連携室三島分室会議において点検・評価を行っている。

(大保看9-1 公開講座企画委員会議事録(平成31年3月))

- 6) 本郷・お茶ノ水キャンパス(国際教養学部)では、地域社会への貢献のため、定期的に市民公開講座やフォーラムを開催しており、教授会において総括的な検証を行っている。

(大国防9-1 国際教養学部教授会議事録(平成30年6月))

- 7) 本郷・お茶ノ水キャンパス(大学院医学研究科)では、大学院医学研究科委員会において各種連携協定の締結・更新の審議を行っている。また、学外施設学修申請に基づく学外組織との連携による研究指導についても、当該学生の研究内容や期間等を確認のうえ、可否の審議を行っている。

(大院医9-1 大学院医学研究科委員会議事録(平成31年2月))

《産学官連携について》

- 1) 革新的医療技術開発研究センターでは、企業や研究機関等との共同研究を推進するため、担当者を配置した管理を行っている。革新的医療技術開発研究センター運営委員会において、産学官連携の成果となる知財や連携共同研究等の進捗状況が担当者から報告され、医師、生物統計家、研究事務局等多職種から構成される委員による評価が行われ、改善方策について検討している。

(大革新9-7 革新的医療技術開発研究センター運営委員会資料2019年3月事務室)

- 2) 産学官による連携協定を締結する愛知県東郷町と東郷町施設サービス(株)とは、協定書に基づく東郷町民の健康寿命の延伸、生涯スポーツ及び地域の振興に寄与することを目的として、事業や共同研究を円滑に実施するための会議を定期的に開催し、進捗状況、評価及び改善について検証している。また、検証結果に基づき事業や共同研究体制の拡充にむけて東郷健康寿命延伸協議会を開催している。これら取り組みの一部は2019(平成31)年2月に厚生労働省老人保健健康増進等事業のシンポジウム「産学官で取り組む地域包括ケアとヘルスケア産業の創出・活用」で紹介した。

(大ス9-2 平成31年2月 東郷健康寿命延伸協議会(第4回会議議事録))

《他学との連携について》

- 1) 研究成果を社会に還元する目的で締結された連携協定については、それぞれ定期的にシンポジウムや報告会等を開催することで、活動の定期的な検証を行っている。

《国際交流について》

- 1) 毎月開催されるJUIC(Juntendo University International Center)教育委員会において、各研究科・学部から報告のあった国際交流に関する事項や国際共同研究・教育等具体的な業務の検証、各留学生の奨学金の受給状況、学生の生活に係る検討事項の共有、来訪団体の目的確認と対応などについて適切に実施しているか検証を行っている。

(大国防9-10 第107回国際交流センター教育委員会議事録)

第9章 社会連携・社会貢献

(2) 長所・特色

《社会連携・社会貢献について》

1) 社会貢献については、本学の特性を活かし、研究成果の社会的な還元という観点から公開講座やシンポジウム・学術講演会等を数多く開催している。医学関係では最新の医療情報や技術等の提供があり、スポーツ関係では子供やスポーツに興味のある青少年等のための運動プログラム、高齢者にはロコモティブシンドローム予防のプログラムを行い、看護関係では市民参加型の体験学習等を行っている。これらは数年前より実施しているが、市民からの需要が高く、自治体等からの要望が多い。引き続き、本学の特性を活かし、公開講座・シンポジウム・学術講演会等を開催することで、教育・研究成果の社会への還元を図っていく。

(大社連9-5 社会連携推進室ホームページ)

2) 大学院医学研究科では、2018(平成30)年度の博士課程入学志願者の3割以上が社会人であり、「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」採択により2013(平成25)年度に設置された「次世代先導的がん研究者養成コース」は、がん治療認定医の申請資格の単位の一部として認められるなど、すでに社会の中で活躍する医師の生涯学習の機会として十分な役割を果たしている。また、連携大学院協定を締結している4研究機関より、2018(平成30)年度も24名の入学者があった。毎年度、各研究機関から入学者を迎え入れており、医学教育と医学研究の連携に貢献できている。2017(平成29)年度には、文部科学省の「基礎研究医養成活性化プログラム」に採択され、本学及び連携大学(東京大学、福島県立医科大学)をICTと循環型人材交流で結び、地域中核病院において必要とされる死因究明、遠隔病理診断、ゲノム医療の知識を身に付けた病理医を育成し、地域における病理医の配置実現を目指すプログラムを開始している。

引き続き、ホームページや募集要項、研究科説明会等において、社会人入学者の増加に向けた周知を図る。また、「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」の設置コースについては、補助終了後も大学院のコースワークや授業科目として開講している。連携大学院については、大学院生の研究指導のみならず、本学と連携機関の共同研究への発展の可能性も視野に入れ、一層の連携強化を図る。

3) スポーツ健康科学部・大学院スポーツ健康科学研究科では、社会連携推進室分室の設置により、周辺自治体との連携が進んでおり、市町村との公開講座・学術支援・スポーツイベント・学生ボランティア派遣等の活動を続けている。周辺自治体に共通したテーマとして「子どもたちの体力向上」、「中高齢者への健康指導・体力指導(ロコモ対策)」などの要望が多く、多くの自治体が抱えている問題に対し、本学部・研究科が中心的な役割を果たしている。

今後も、社会連携協定を締結した自治体と合同で公開講座やシンポジウム・学術講演会・スポーツイベント等の行事を積極的に開催することで地域に貢献していく。更に、中高齢者への健康・運動指導やオリンピック・パラリンピック参画プログラムへも積極的に参加していく。

4) 医療看護学部・大学院医療看護学研究科では、定期的に健康増進や保健衛生に関するテーマで公開講座や高大接続プログラム等を開催し、教育研究の成果を社会に還元している。

今後も公開講座・高大接続プログラム等を継続して開催するとともに、支援が必要な子ども・高齢者・在宅患者・被災地等への学生ボランティア活動、自治体との連携協力による講演会・防犯活動・調査研究活動等を通じて、地域住民の健康増進、保健衛生に貢献していく。

第9章 社会連携・社会貢献

5) 保健看護学部では、2018（平成30）年度は公開講座の実施回数を増やし、教育研究成果を社会に広く還元するよう取り組んだ。公開講座を学部内委員会活動と共催し、実施回数を7回増加させ、参加総数も709名と増加した。学生ボランティア活動の推進のために学生への働きかけを行っている。2018（平成30）年度は三島市水道課と共同で水活用の推進について新たな取り組みがあった。学生ボランティアが積極的に活動に参加できるように、活動報告（写真付き）を掲示しPRに努めている。

今後も、三島市教養セミナーを毎年開催する等、定期的に健康増進等に関する公開講座を開催し、教育研究の成果を社会に還元していく。また、三島市及び周辺自治体の協力の下、教育に地域住民の参加（教育ボランティア・模擬患者）を得られる仕組みづくりを進め、教育効果を高めるとともに地域住民の健康増進に貢献していく。

（大保看9-2 三島市との協定書）

6) 国際教養学部では、定期的に市民公開講座やフォーラムを開催し、教育研究の成果を社会に還元している。

今後、実施内容や開催頻度を検討の上、更なる充実を図る。

（大國教9-2 市民公開講座チラシ）

（大國教9-3 持続可能な高齢社会フォーラムチラシ）

＜産学官連携について＞

1) 文部科学省「研究成果展開事業センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム」において、2015(平成27)年度から立命館大学と連携し、空間価値を変える新しいスポーツ健康技術(スマートウェア技術、空間シェアリング技術、運動誘導/継続技術)と、寝たきりゼロを目指す「ロコモの見える化と予防法の開発」を行っている。

本学は、2021（平成33）年度まで(株)ニッピ、(株)日立製作所、東急不動産(株)、花王(株)、東郷町施設サービス(株)と協働し「運動」を媒介に「スポーツ・運動」と「医療」の両側面から健康を維持・増進し、全ての人々をアクティブな状態へ誘導し、時間と空間を共有することで、「日本の誇るべき絆社会」の実現を目指している。これら実装の場として、本学と連携協定を締結している千葉県内の自治体(白井市・成田市)に加え、千葉県富里市、愛知県東郷町でフィールド研究を行い、製品化、システム化など具体的な社会実装へ向かう取り組みを実施し、革新的なイノベーションを産学官連携で実現したい。

2) 独立行政法人理化学研究所との連携共同研究の進捗・研究成果として、血液内科より1件、理化学研究所、早稲田大学との共同で新規の特許出願が行われた(特願2018-078074、2018年4月16日出願)。その他これまでに特許出願した特許では、呼吸器外科の1件が米国出願、国内出願の審査対応中、産婦人科の1件が欧州出願、国内出願の審査対応中である。論文では、臨床病態検査医学講座より1報がPLoS_ONE0202429(平成30年10月3日)に掲載された。また、2018(平成30)年11月17日に第6回理研・順天堂共同研究発表会を開催し(於理化学研究所横浜事業所)、共同研究者間において新技術や研究内容の情報共有を行った。今後は、更なる共同研究発の特許出願及びがんバイオマーカーの実用化を目指す。共同研究発表会は、より活発な情報交流や意見交換ができる形式を検討していく。

（大革新9-8 第71回順天堂・理研研究戦略会議資料1-1）

（大革新9-9 PLoS_ONE0202429）

（大革新9-10 第6回理研・順天堂共同研究発表会ポスター）

第9章 社会連携・社会貢献

- 3) 花王株式会社との研究包括契約に基づく取り組みとして、6件の共同研究契約に基づき、研究が進捗している。また技術説明会及び連携協議会が開催され、連携推進体制の強化も進んでいる。

同社とは、共同研究を進捗させるとともに、情報交流の機会を増加させ、新たな共同研究テーマを選定して研究を進めていく。

(大革新9-11 第5回花王・順天堂連携協議会アジェンダ)

《他学との連携について》

- 1) 東京藝術大学とは、連携協定に基づき、「Limitless」を開催しており、目的に則した連携・協力が実現できている。

同大学とは、連携協定に基づき、引き続き、イベント「Limitless」等を共催し、連携・協力を進める。

(大総務9-11 「Limitless/リミットレス」を開催！)

《国際交流について》

- 1) 国際交流センター長を中心として、JUIC教育委員会が毎月開催されている。委員会では、各研究科・学部から報告のあった国際交流に関する事項のほかに、定型的な報告事項として、国際交流協定校情報、来訪団体、海外からの短期研修受入状況、留学生状況、奨学金、英語版HP、文化教育活動等の報告等を行っている。本学の国際交流の情報が集約できるよう有効に機能している。

英語版HPの更新後、海外からの照会数が増加し、その結果として2018(平成30)年度の医学部短期研修受入数は377名と大幅に増加した。加えて、他学部においても協定校との交流プログラム等が活発化し、多くの短期留学生を受入れている。こうした海外からの関心の高まりを受け、JUIC教育委員会においても、今後、教育の質と受入学生の質を維持するため、各学部・受入講座と連携し受入条件について検討していく。また、国際レベルでの科学研究や共同研究に関する事項については、各研究科・学部、情報戦略・IR推進室、研究戦略推進センター、革新的医療技術開発研究センターとの更なる連携を目指す。

(3) 問題点

《社会連携・社会貢献について》

- 1) 多くの自治体に共通した課題として、子どもや高齢者の健康・体力指導に関するものがあるが、周辺自治体の連携や自治体内の部署連携が不足している。ここ数年、自治体との連絡協議会等を通し、自治体内での部署連携は進んでいるが、複数の自治体にまたがる共通テーマに係る事業の効率的な展開については、自治体側の事情もあり進展していない。効率的に事業の展開が図れるよう、引き続き調整を行う。
- 2) 大学院医学研究科における連携大学院(国立がん研究センター等)については、毎年一定数の入学者が確保できており、運営状況は順調と言えるが、今後は、社会人学生の受入に留まらず、共同研究の実施、合同シンポジウムの開催等、事業内容の更なる拡充・発展に向けた検討を行なう必要がある。

(大院医9-1 大学院医学研究科委員会議事録(平成31年2月))

(大院医9-2 大学院医学研究科委員会議事録(平成30年10月))

- 3) 保健看護学部では、教員の研究成果等を地域に広く還元するため、2018(平成30)年度に一般

第9章 社会連携・社会貢献

の方から講師派遣の依頼ができるように学部ホームページ上に案内を掲載したが、このツールを利用しての依頼実績はなかった。

今後は、現在の社会問題等を参考にしながら、教員の研究テーマ等を同ページに掲載することで内容を周知し関心をもってもらうことで、依頼数を増加させていく。

《産学官連携について》

1) 独立行政法人理化学研究所との連携共同研究の進捗・研究成果として出願した特許については、実用化には至っていない。1 共同研究から論文 1 報が発表されたが、他の共同研究から論文発表を通じての社会への研究成果情報の提供は、まだなされていない。

今後は、新規出願特許 1 件の審査請求を行い、審査中特許の登録を目指すとともに、特許登録を持って診断薬メーカーに提示し診断薬の開発を目指す。論文発表については、引き続き共同研究発表会を開催し、より活発な共同研究者間の情報共有を図り、研究促進とともに論文発表を促していく。

2) 花王株式会社との研究包括協定に基づく共同研究については、特許 1 件が出願され、花王とともに実用化を目指す。他の研究では、未だ実用化に至る成果が得られていない。論文を通じて社会への研究成果情報の提供もなされていない。

今後は、引き続き連携協議会を開催するほか、共同研究成果発表会を開催して相互の情報共有をより活発に行い、新たな共同研究テーマの立ち上げ、特許出願、論文発表につなげて行く。

《国際交流について》

1) 海外からの関心の高まりを受け、多くの短期研修生・外国人研究者・長期留学生在が本学に来訪し、その宿舎の確保が困難な状況は慢性的に生じている。引き続き、実質的な運用・効率的な案内方法の構築、日常生活のサポートといった、受け入れ環境の一層の改善が求められており、関係各所と調整していく。

2) 施設見学者希望者の増加が止まらない状況にある。大学法人への公式来訪ではないケースについては、訪問依頼状（来訪者一覧・目的・希望日など）の提出を求めており、教育・研究活動に供する場合は可能な限り対応するようにしているが、前述の趣旨と異なる場合（観光コースとすることや、企画の集客や営利目的の場合）には対応していない。

(4) 全体まとめ

地域社会との連携は「社会連携推進室」、研究機関との連携は「研究戦略推進センター」及び「臨床研究・治験センター」、国際交流・国際化は「国際交流センター」がそれぞれ中心的な役割を果たし、全学を挙げて推進している。自治体との連携協定締結も進み、教育研究成果を社会に還元する各種取り組みが行われている。公開講座・シンポジウム開催や講師派遣も積極的に行われている。他学、学外研究機関、企業等との連携も進み、特許出願等の成果が出ている。また、医学部附属病院を通じた地域への貢献も果たしている。以上のことから、同基準を満たしている。

第9章 社会連携・社会貢献

(5) 根拠資料

資料No.	各部署の資料整理No.	資料名称
1	大総務2-1	法人ホームページ 「各種方針」 https://www.juntendo.ac.jp/corp/about/policy.html
2	大社連9-1	学校法人順天堂社会連携推進室運営規程
3	大総務9-1	各学部・研究科の社会連携・社会貢献に関する方針
4	大研戦9-1	順天堂大学産学官連携ポリシー
5	大研戦9-2	順天堂大学研究戦略推進センター管理運営内規
6	大革新8-1	順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床研究・治験センター管理運営規程
7	大革新8-2	順天堂大学革新的医療技術開発研究センター管理運営規程
8	大総務9-2	連携協定締結先一覧
9	大外交9-1	順天堂大学国際交流センター運営規程
10	大外交9-2	順天堂大学 国際化ビジョン
11	大総務9-3	各学部・研究科・附属病院における社会連携・社会貢献の取組み
12	大研戦9-3	大学・大学院ホームページ 本学について 教育改革の取り組みなど センター・オブ・イノベーション (COI) https://www.juntendo.ac.jp/university/about/education/
13	大ス9-1	学校法人順天堂と国立大学法人鹿屋体育大学連携協定書
14	大革新9-3	順天堂大学と理化学研究所が包括的基本協定
15	大革新9-4	順天堂大学と花王が産学連携の研究包括契約を締結
16	大革新9-5	首都圏 AR コンソーシアムに関する基本協定書
17	大総務9-4	学校法人順天堂と東急不動産株式会社が包括連携協定を締結
18	大総務3-2	平成30年度 事業報告書
19	大革新9-6	臨床研究中核病院申請書類 様式5 特定臨床研究に関する研修の実績
20	大再編9-1	学校法人順天堂と学校法人早稲田大学との共同研究に関する覚書
21	大再編9-2	次世代環境医療研究会組織図
22	大再編9-3	2014(平成26年)2月21日(金)東京新聞「東京消防庁新基準適用第1号 順天堂の新病棟で訓練」
23	大総務9-5	学校法人順天堂と学校法人女子美術大学が連携・協力に関する基本協定を締結
24	大総務9-6	国立大学法人電気通信大学と順天堂大学との学術連携交流協定書
25	大総務9-7	電気通信大学・順天堂大学・星薬科大学による学術連携交流協定締結
26	大総務9-8	順天堂大学と立命館大学が学術交流協定を締結
27	大総務9-9	順天堂大学と明治大学が包括協定を締結
28	大総務9-10	順天堂大学と東京藝術大学が連携・協力協定を締結
29	大総務9-11	「Limitless/リミットレス」を開催!
30	大総務9-12	国立大学お茶の水女子大学と順天堂大学が学術交流協定を締結
31	大IR9-1	昭和第一高等学校との教育連携協定締結
32	大IR9-2	神田女学園高等学校との教育連携協定締結

第9章 社会連携・社会貢献

資料No.	各部署の資料整理No.	資料名称
33	大IR9-3	学校法人聖啓学園との教育連携協定締結
34	大国交9-3	大学協力協定締結状況
35	大国交9-4	第6回順天堂大学・北京大学国際学術シンポジウムプログラム
36	大国交9-5	第3回順天堂大学・仁済大学共同シンポジウムプログラム
37	大国交9-6	順天堂大学・東京医科歯科大学日本文化交流プログラム
38	大国交9-7	平成30年度表敬訪問・行事一覧
39	大国交9-8	スタンフォード大学国際学術セミナーポスター
40	大国交9-9	医学部短期研修生受入数の推移
41	大総務9-13	施設・関連団体ホームページ 「日本医学教育歴史館」 http://www.juntendo.ac.jp/jmehm/
42	大社連9-2	社会連携推進委員会議事録(平成30年6月)
43	大社連9-3	社会連携推進委員会議事録(平成31年1月)
44	大社連9-4	順天堂ニュースNo.2197 (2019年3月1日号)
45	大医9-1	平成30年度 地域卒学生ユニット説明会(平成30年7月)
46	大医9-2	平成30年度 地域卒学生の卒前・卒後報告会(平成30年11月)
47	大医看9-1	社会連携推進室連絡会議議事録(平成31年2月)
48	大医看9-2	高大接続プログラム部会議事録(平成30年9月)
49	大保看9-1	公開講座企画委員会議事録(平成31年3月)
50	大国教9-1	国際教養学部教授会議事録(平成30年6月)
51	大院医9-1	大学院医学研究科委員会議事録 (平成31年2月)
52	大革新9-7	革新的医療技術開発研究センター運営委員会資料 2019年3月事務室
53	大ス9-2	平成31年2月 東郷健康寿命延伸協議会(第4回会議議事録)
54	大社連9-5	社会連携推進室ホームページ https://www.juntendo.ac.jp/cooperation/about/message.html
55	大国交9-10	第107回国際交流センター教育委員会議事録
56	大保看9-2	三島市との協定書
57	大国教9-2	市民公開講座チラシ
58	大国教9-3	持続可能な高齢社会フォーラムチラシ
59	大革新9-8	第71回順天堂・理研研究戦略会議資料 1-1
60	大革新9-9	PLoS_ONE0202429
61	大革新9-10	第6回理研・順天堂共同研究発表会ポスター
62	大革新9-11	第5回花王・順天堂連携協議会アジェンダ
63	大院医9-2	大学院医学研究科委員会議事録 (平成30年10月)